

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる 実態調査結果報告（速報）

平成30年7月13日  
仙台市経済局

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（1）

## 調査目的

市内中規模事業所の事業活動の実態や課題、支援ニーズなどを把握することにより、中小企業の成長支援に向けた施策立案の参考とするための基礎資料を得ることを目的とする。

## 調査方法等

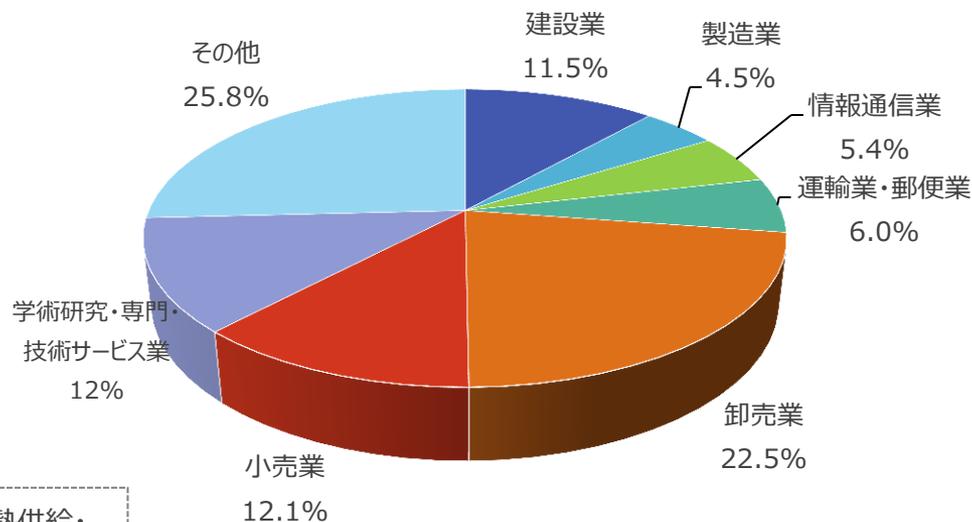
市内に本店を置く中小企業者のうち、**中規模事業者** 2,732者に対してアンケート調査を実施した。  
※1

1. 実施時期 平成30年5月中旬～6月初旬
2. 有効回答数 1,023件（37.4%）

※1 中規模事業者の定義

業種	従業員数
製造業・その他業種	21～300人
卸売業・サービス業	6～100人
小売業	6～50人

※その他には農業・林業、鉱業・採石業・砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、他に分類されないサービス業を含む



調査対象事業者の業種割合

n=2,732

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（2）

## 域外への事業展開の意向

行うつもりはない：616件(62.3%)

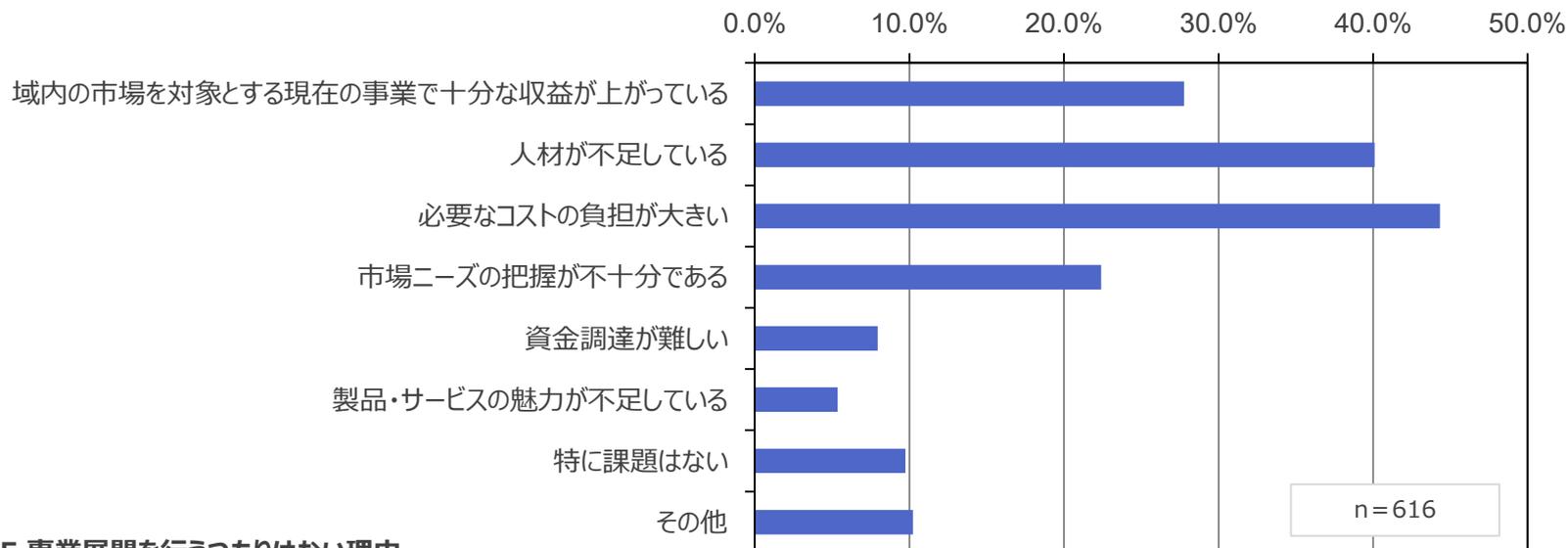
### 事業展開を行うつもりがない理由

- ✓「コスト負担が大きい」が44.3%と最も多く、次いで「人材が不足している」が40.1%
- ✓ 3位の「現在の事業規模で十分な収益が上がっている」は27.8%



n=1,023

問5 今後の東北以外の地域への事業展開の意向



問5-5 事業展開を行うつもりはない理由

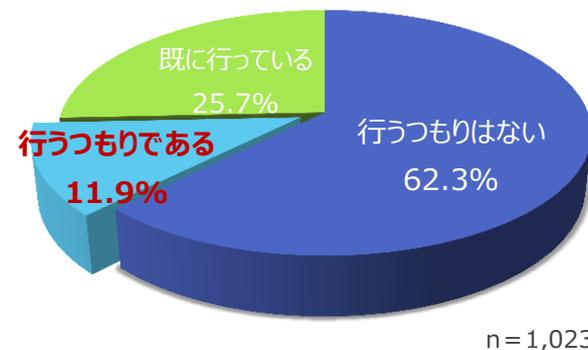
# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（3）

## 域外への事業展開の意向

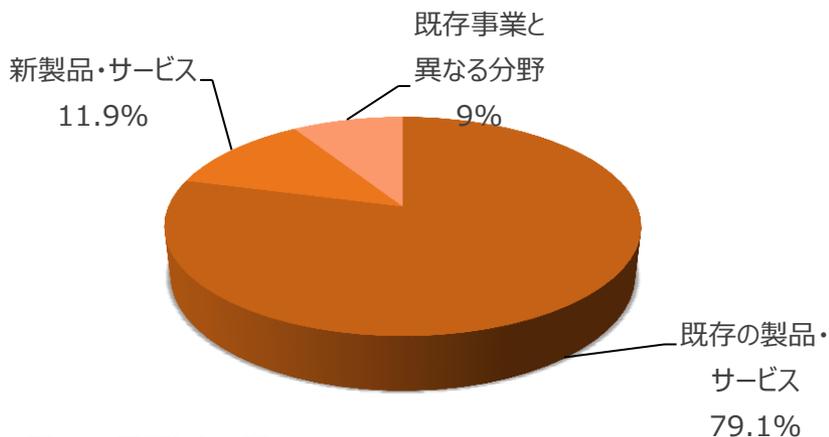
行うつもりである：**118件(11.9%)**

### 今後展開したい事業内容と主な対象地域

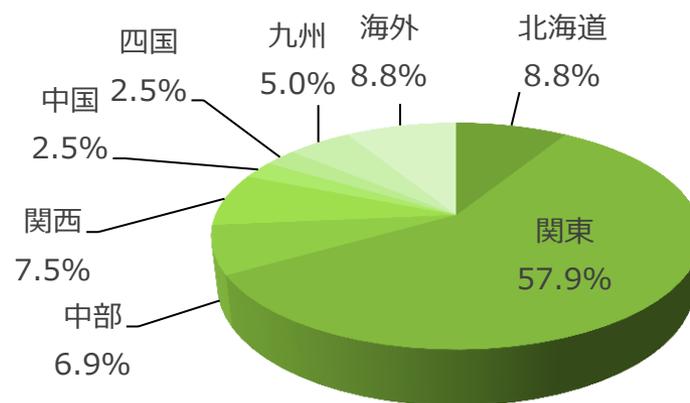
- ✓ 今後展開したい事業内容は、「既存の製品・サービス」が79.1%を占めている。
- ✓ 今後展開したい地域では、「関東地域」が57.9%を占めたが、次いで「海外」が8.8%となっている。地域の内訳を見ると、アジアとの回答が多い。



問5 今後の東北以外の地域への事業展開の意向



問5-3 展開したい事業内容



問5-2 主な対象地域

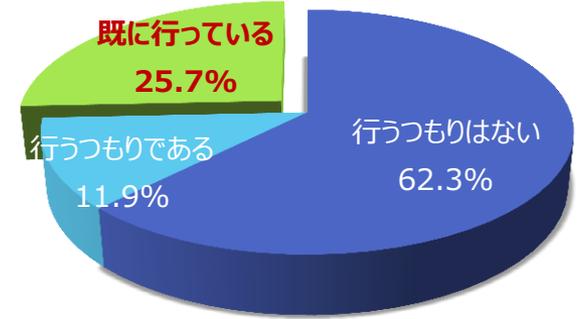
# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（4）

## 域外への事業展開の意向

既に行っている：254件(25.7%)

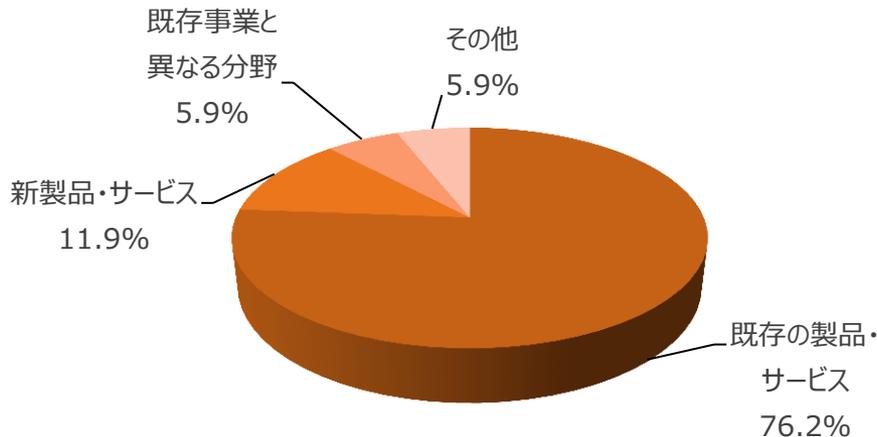
### 展開している事業内容と主な対象地域

- ✓ 展開している事業内容は、「既存の製品・サービス」が76.2%を占めている。
- ✓ 展開先は「関東」が41.5%と最も多く、「海外」と回答した事業者は4.1%で、地域の内訳は中国、台湾、タイなどの東南アジア多い。

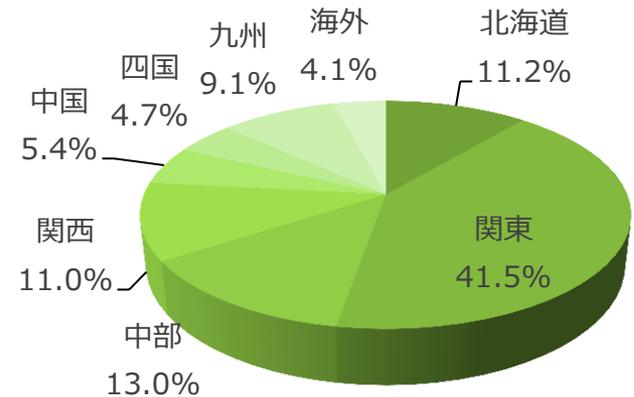


n=1,023

問5 今後の東北以外の地域への事業展開の意向



問6-1 展開している事業内容



問6-2 主な対象地域

## 事業展開に至ったきっかけ・取組みの内容

### 事業展開のきっかけ

- ✓ 「取引先や他企業からの紹介によるもの」、「取引先や顧客からの要望によるもの」、「取引先が全国展開したことに伴うもの」など、**他者からの働きかけによるもの**が多く見られた。
- ✓ 「売上げ向上や市場拡大を目指して」という**ポジティブな要因**のほか、「市内や県内の市場縮小」、「東北での売上げ増加が見込めない」といった、**東北地域のマイナス要因**によるという意見も見られた。

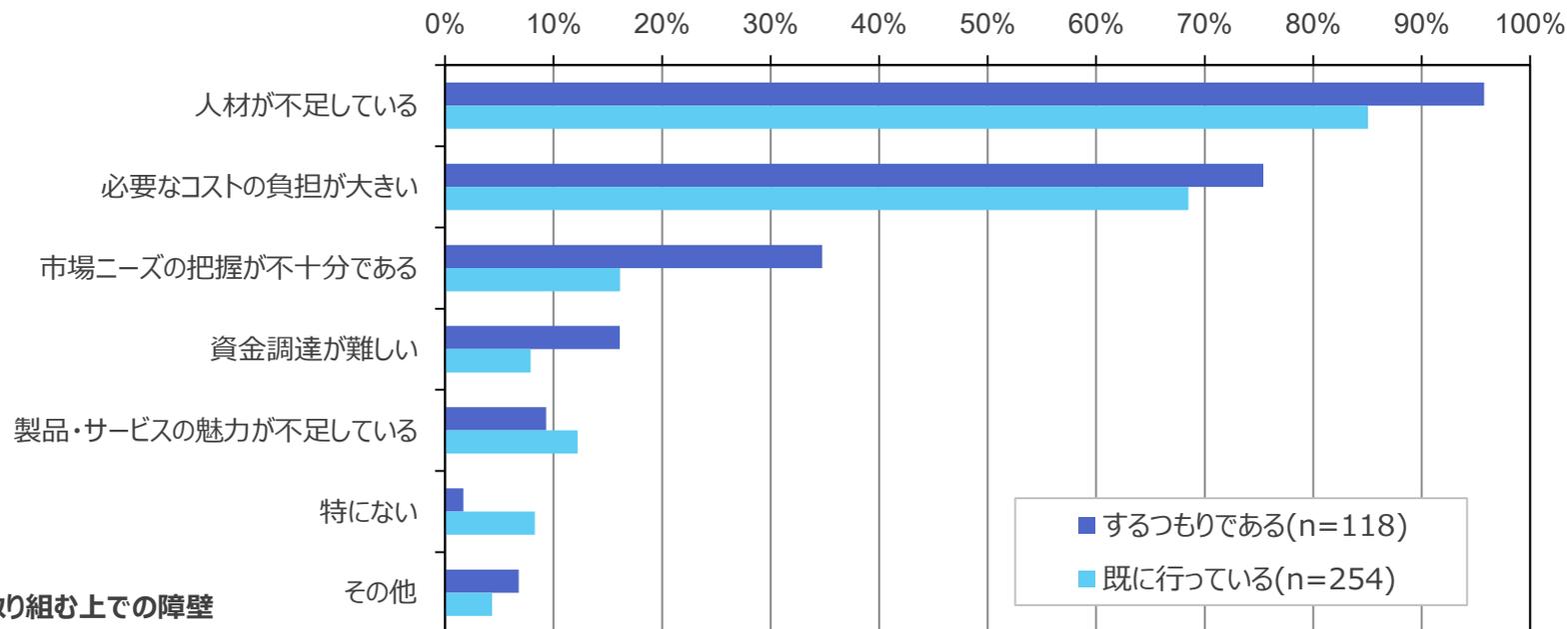
### 事業展開の取り組み内容

- ✓ ホームページによる宣伝、DM送付、展示会出展、企業訪問などの**営業活動**。
- ✓ eコマースの活用や、首都圏への支店出店といった**事業の拡大**。

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（6）

## 事業展開を進める上での課題等

- ✓ 1位の「人材が不足している」と2位の「必要なコストの負担が大きい」はそれぞれ大半の事業者が選択している。
- ✓ 次いで「市場ニーズの把握が不十分」が3位となっており、「既に行っている」が16.1%なのに対し、「するつもりである」が34.7%と割合が高い。
- ✓ 4位は、「するつもりである」が「資金調達が困難」であるのに対し、「既に行っている」は「製品・サービスの魅力が不足している」となっている。



問5-4 取り組む上での障壁

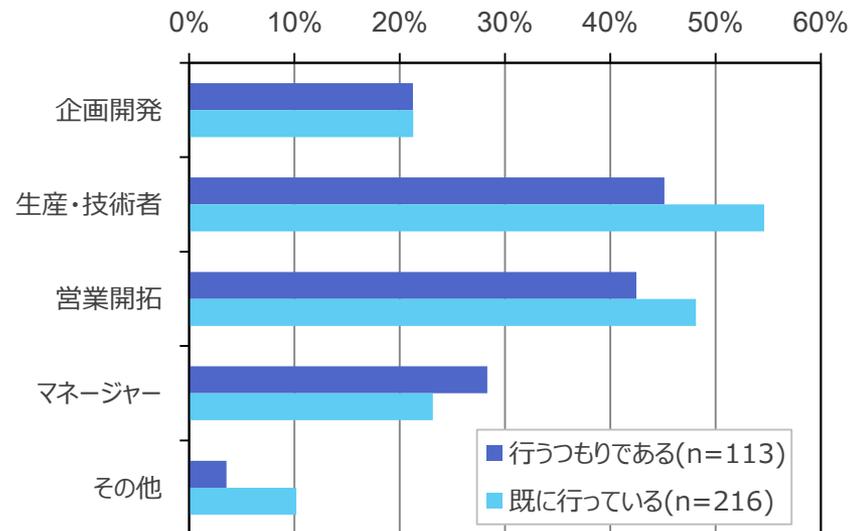
問6-4 取り組みを進める上での課題

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（7）

## 不足している人材・負担の大きいコストの種類

### 不足している人材

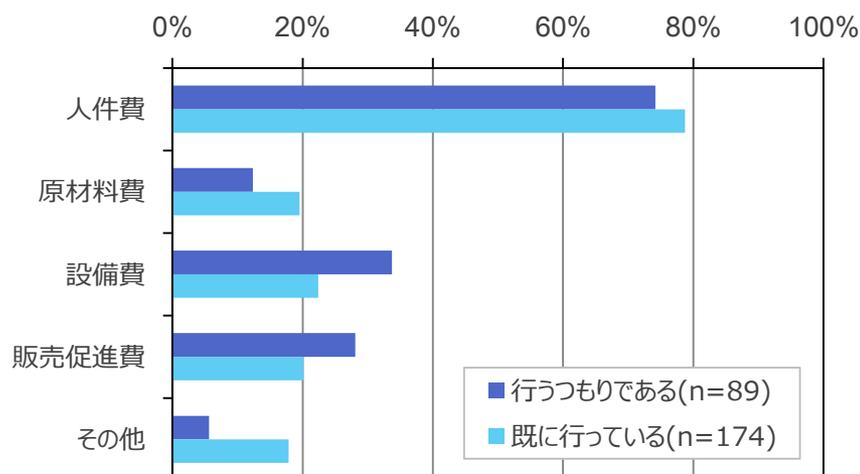
- ✓ 不足している人材の種別では、いずれも1位が「生産・技術者」、2位が「営業開拓」となっている。
- ✓ 「マネージャー」は「行うつもりである」が28.3%で、「既に行っている」の23.1%よりも高い割合となっている。



問5-4-1 不足している人材

### 負担の大きいコスト

- ✓ いずれも「人件費」が1位となっている。
- ✓ 「行うつもりである」では設備費、販促費の割合が高い。

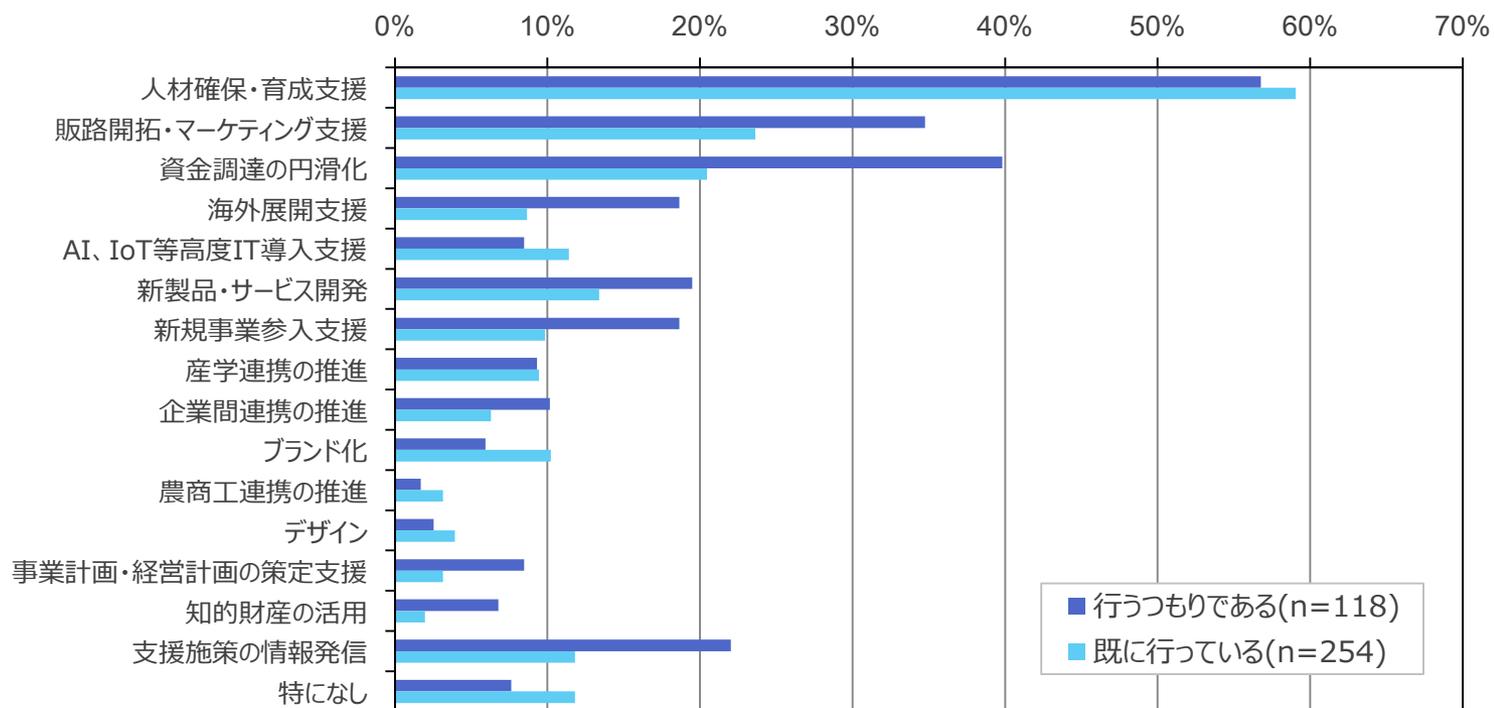


問5-4-2 負担の大きいコスト

# 市内中規模事業所の事業活動にかかる実態調査結果報告（8）

## 行政に期待する支援

- ✓ いずれも「人材確保・育成支援」が最も多く、半数以上が選択している。
- ✓ 「行うつもりである」では、次いで「資金調達の円滑化」、「販路開拓・マーケティング支援」、「支援施策の情報発信」となっている。
- ✓ 「既に行っている」では、「販路開拓・マーケティング支援」、「資金調達の円滑化」、「新製品・サービスの開発」となっている。



問10 行政に期待する支援

## 調査結果の考察

- ✓ 全体の6割以上の事業者が「事業展開を行うつもりがない」と回答しており、その大半が「**人件費等のコスト負担**」や、「**人材の確保が困難**」なことを理由に挙げている。
- ✓ 「これから事業展開を行うつもり」と「既に事業展開を行っている」のいずれでも、「**人材の確保**」が高い割合で課題となっている。人材の種類では、「**生産・技術者**」が最も多い。
- ✓ 一方で、「**コスト負担が大きい**」も2番目に多い回答となっており、コストの種類では「**人件費**」との回答が最も多い。



人件費へのコスト負担感が強いことを勘案すると、**ITや機械導入による生産性の向上**や**外部リソースの活用**など、人材確保以外の手法とセットにして施策を考えていくべきではないか？